学校番号	3034

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『世界史Ｂ　新訂版』（実教出版）						
副教材等	『新世界史図説 タペストリー』（帝国書院） 『世界史Ｂ　新訂版　演習ノート』（実教出版） 『共通テスト　実力トレーニング世界史』（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を学ぶことの意義や目的は、歴史的事象の背景や原因・結果・影響などを考えることにあります。１、２年次で培った考え方や知識をもとに、一緒に考えていきましょう。
・授業では受け身にならず，自分の考えを発表し，主体的に議論に参加する姿勢を求めます。

２　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し,文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	国際社会に主体的に生きる資質を養うため，世界の歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に学ぶ姿勢を持っている。	世界の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり、図表にまとめたりすることができる。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し､その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 授業での観察	定期考査 ワークシート 発表や討論	定期考査 ワークシート レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	世界史への扉							
	諸地域世界の形成	・ビックバンから人類の出現へ ・西アジア世界と地中海世界 ・南アジア世界と東南アジア世界 ・東アジア世界 ・中央アジア世界と東アジア世界の展開 ・アフリカ世界と南北アメリカ世界						
	諸地域世界の交流と再編	・イスラーム世界の広がりと西アジア世界の展開						
		・ヨーロッパ世界の形成と展開					ここまでは２年次世界史Ｂで扱った。	
前期		《中央ユーラシア世界と諸地域の交流・再編》 ・中央ユーラシア諸民族と東アジア世界の変容 ・モンゴル帝国の成立 ・東南アジア世界の再編 ・海域世界の展開と第1次大交易時代 ・10～13 世紀の朝鮮半島と日本列島	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○ 	a:内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:ユーラシア諸地域世界の交流や再編を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c :内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割に関する諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: ユーラシア諸地域の交流や再編についての基本的な事柄を把握し、10～13 世紀の東アジアについての知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

前期	諸地域世界の結合と変容	【一体化にむかう世界】 《近世ヨーロッパと大航海時代》 ・ヨーロッパの海外進出 ・第2次大交易時代と海域アジア ・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・激化する覇権競争 ・近世ヨーロッパの社会と文化	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:ヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したことに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c ：ヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したことに関する諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立の基本的な事柄を把握し、16～18 世紀のヨーロッパ世界の特質についての知識を身につけている。	定期考査 レポート ワークシート
後期		【アジア諸地域の繁栄と日本】 《アジア諸地域の帝国と第2次大交易時代》 ・中央ユーラシア世界と西アジア世界の帝国 ・南アジア世界の帝国 ・東南アジア諸国と第2次大交易時代 ・東アジアの帝国 ・14～18 世紀の朝鮮半島と日本	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○ 	a:西アジア・南アジアのイスラーム諸国家や東南アジア海域の動向、明・清帝国についての関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:16～18 世紀までのアジア諸地域の特質とその中での日本の位置づけを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 16～18 世紀までのアジア諸地域に関する諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 西アジア・南アジアのイスラーム諸国家や東南アジア海域、明・清帝国についての基本的な事柄を把握し、16～18 世紀のアジアの特質とに関する知識を身につけている。	定期考査 レポート ワークシート

後期	諸地域世界の結合と変容	【産業社会と国民国家の形成】 《環大西洋革命とパクス=ブリタニカ》 ・イギリスの産業革命 ・南北アメリカの革命 ・フランス革命とナポレオン帝政 《近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家》 ・ウィーン体制と 1848 年の革命 ・19 世紀後半のヨーロッパとアメリカ ・19 世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:産業社会と国民国家の形成を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：産業社会と国民国家の形成に関する諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革などについての基本的な事柄を把握し、産業社会と国民国家の形成についての知識を身につけている。	定期考査 レポート ワークシート
	地球世界の到来	【帝国主義と社会の変容】 【二つの世界大戦と大衆社会の出現】 【米ソ冷戦と第三世界】 【グローバル化した世界と日本】				○ ○ ○ ○	d: 世界が地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことについての基本的な状況を把握し、産業社会と国民国家の形成についての知識を身につけている。	レポート ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。